



五岳と 向き合う屋敷で、 うどんの気品。

しんちゃんうどん
岩下治義

一面の田のなかに、風格ある屋敷が建っている。遠くから眺めるひとはうどん店と気づかないだろう。端然としたようすは、まさに武家屋敷である。店主の岩下治義さんが妻と長男と三人で始めたのは二〇一〇年。事務系の仕事で実績を重ねてきたサラリーマン時代だったから、まったく新しい人生第二章だ。動機は「家族の結束」に尽きる。二人でも欠けたらやめるよ、とつねづね言っています。調理を一手に引き受けるのは、修業を積んできた長男だ(店名の「しんちゃん」。味に詳しく、勉強もしてきた妻がうどんのつゆをチェックする。で、ご主人は?「わたしは運び屋です」。卓にうどんを運ぶホールスタッフ。家族の分担のバランスがとていい。店は妻の生家の居間だ。つい寛いでしまうのはそのせいだろう。大きなガラス戸越しには五岳が迫る。部屋に目を移せば、美術品があふれている。ひとときわ目を引くのは数多くの能面だ。五十年代のときから習ってきた店主が、自ら打った作品群が厳かに華やかに並んでいる。文化の香りをたっぷり漂わせつつ「安くておいしくて量がある」という人氣は、震災後もまったく変わらない。



食えることは、 愛すること。

阿蘇市食生活改善推進員協議会
大空静子

太平洋戦争のあと、人びとが直面した大きな問題のひとつが食生活だった。栄養バランスのとれた食事がいかに大切であるかを戦後復興に励む人びとに訴え、普及していくために日本食生活協会は生まれた。山中までバスで巡回し、講習会を開き、じっさいに料理を作って試食してもらう活動だった。よりよい食生活を定着させるためには、こうした地域に根ざした活動が欠かせない、という考えから新たな組織づくりが行われた。それが食生活改善推進員協議会である。創設の精神を受け継ぎ、「食の大切さ」を具体的にわかっていただくこと、保育園から老人会まで、レシピを作って幅広く訪問活動を繰り広げています」と大空静子さん(写真中央)が語るように、「食」の伝道師であり、地域の健康づくりの案内役を担いつづけているのだ。熊本地震が発生し、出荷できなかつた地元のアスパラやキュウリをはじめ、全国から激励の野菜や果物がぞくぞくと届けられてきた。「まるで日本列島の野菜たちが集まったみたい」。その膨大な量を次々にさばいて料理に仕立てたのは同協議会のお母さんたちだ。そう、食べることが、愛することなのだ。

人の力を 信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然 zen

Aso City

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。

※ 掲載された内容は取材時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

- 4 平成 29 年度施政方針(要旨)
- 10 平成 29 年度予算
- 12 まちの話題
- 18 市役所からのお知らせ
- 24 大阿蘇元気ウオーク 2017
- 25 平成 29 年度市職員募集 阿蘇広域行政事務組合職員募集
- 26 暮らしの情報
- 28 阿蘇サイクルツーリズム通信
- 29 「NHKのど自慢」出場者・観覧者募集
- 30 人権作文 阿蘇中央高校 1 年 安武 満樹^{みつぎ}さん
- 31 カルデラ暮らし
- 32 阿蘇医療センター通信 No.21
- 33 図書館へ行こう！
- 34 暮らしのカレンダー & お慶びご寄付
- 36 阿蘇中央の「旬」伝えます
- 37 地産地消クッキング 笹^{だんご}さん
さわやかフレッシュマン長田 亜里紗^{あさ}さん
- 38 阿蘇フォト on Instagram

今月号の表紙

りんどう保育園で5月23日、園児と一の宮子育て支援センター利用者の親子との動物ふれあい体験交流が行われました。

牧場を営んでいる保護者の好意で企画されたこの交流では、普段は体験する機会の少ない牛の乳搾りやポニーへのエサやり、乗馬などが行われました。

はじめて大きな動物と接する子どもたちは、戸惑いながらも興味津々な子、笑顔で動物たちを触る子などさまざまな反応がありました。



市役所からのお知らせ

- 65 歳以上の皆さまへ介護保険料のお知らせ [P18]
- 後期高齢者医療被保険者証が更新されます [P20]
- 国民健康保険被保険者証が更新されます [P21]
- 30 歳以上の国民健康保険被保険者の人間ドック補助金申請 [P21]
- 国民年金保険料の免除・納付猶予制度のご案内 [P22]
- 特定公共賃貸住宅の入居申し込みについて [P23]
- むし歯予防にフッ化物塗布を取り入れてみませんか？ [P24]

暮らしの情報

- 7 月は社会を明るくする運動強調月間です
- 危ないよ！電線の近くは！
- ソウル線定期便就航記念グループ旅行助成事業
- 就職マッチングフェア in あそ開催決定
- 熊本県小児救急電話相談をご活用ください
- 女性のための総合相談
- 政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。
- 創業にチャレンジしませんか
- 生涯学習特別講座 シニア向けスマートフォン教室(Android)
- 男女共同参画川柳を募集します

夢を追いかける青少年の声を届けます

夢を追いかけて

妹は、私が3才の時に産まれました。

私は、母が妹を産むしゅん間に立ち会いました。じん痛で苦しそうにしている母を、助産師さんがずっとやさしくはげましていました。その姿がとても心に残っています。

助産師は、命のたん生に立ち会え、手助けできるすばらしい職業だと思います。

私は、妊婦さんにやさしく声をかけることができるたよりになる助産師になりたいです。

夢に向かってがんばります。

伊藤 早来

いとう さら / 阿蘇小学校・6年